


















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社やどるくるむa

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
																												
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、会社のあるべき姿を経営目標として従業員に説明・共有している。 ・従業員は会社の経営目標に対し、それぞれの立場で自らの使命を理解し、目標に向けて取り組んでいる。 ・会社のあるべき姿の実現に向けて、新しい事業に挑戦する文化が醸成されている。									8	9										17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令順守の重要性について社内でも話し合う機会を持ち、共有している。 ・法令順守のためのマニュアル作成に取り組んでいる。																				16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公平な取引に努め、従業員に向け、その重要性について発信し、共有している。 ・取引先等との公正な取引のために、会社の方針を明文化している。												10									16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・事業ごとに担当者・責任者を任命している。 ・会社の事業が地域社会に対する「正・負の影響」について分析し、正の影響の強化と負の影響の最小化について検討・整備している。																					16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・会社・事業部ロゴについて制作と同時に知的財産権保護に取り組んでいる。 ・弊社が支援する事業や共同事業に係る知的財産権保護に取り組んでいる。											8.2	9											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・社内でも当社の情報漏洩防止の徹底について共有している。 ・個人情報保護の方針を定め、弊社サイト上で公開している。																					16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・定期的取引先へ赴き、直接お客様の声を聴く機会を大切に、双方のコミュニケーションに努めている。 ・行政・支援機関等のステークホルダーと常に情報共有し、連携した取り組みを進めている。 ・金融機関と適切な連携を図るために、業界事情について情報交換を行い、相互理解に努めている。																				16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5						8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・【予定】令和3年度内にBCPを策定し、避難体制について社内研修会を実施する。													9			11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●													8	9										17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		・原産地での生産履歴や環境、取引価格等が公正なものであるかどうか常に気を持ち、フェアトレード(エシカル)な商品を中心に調達している。	1	2			5					8					12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。 【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生等、社内のあらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制整備・運営を徹底している。				4.3	5.1				8.5										16.1		16.2	16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務中の運転リスクをカバーするために、法人で保険加入し担保している。			3						8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の公正な評価・待遇を行っている。					5.5					8.5										10.2	10.3		
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・就学時・未就学児をもつ従業員の安全・安心な労働環境整備のため、短時間正社員として雇用する等、従業員一人一人のワークライフバランスの実現に取り組んでいる。			3		5.5					8.5	8.8									10.3			
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備や必要経費の支給等、外部研修の受講や必要資格の取得等を奨励している。 ・従業員の担当業務に必要なOJ研修・自学習を奨励し、仕事を通じた自己実現やスキルアップを奨励している。				4	5.5					8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断・予防接種の経費補助を行っている。				3						8												17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等にあらゆる差別的処遇を行わない。 ・【予定】令和3年度内に高齢者雇用を予定している。				4.4	5.1	5.5				8.5											10.2	10.3	16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・令和2年度からテレワークを導入し、新しい働き方に対する労働管理体制を整備している。 ・社内の感染症対策を徹底するため、抗ウイルスエアコンや加湿機等の抗ウイルス対策機器を導入した。 ・外来者への訪問自粛やオンライン会議を促す等、感染症対策を実施している。				3						8	9.1			11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・従業員へのPC配布等のIT投資をする等、テレワーク環境整備を推進している。										8	9.1				11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4					8	9									12			

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社やどるくるむa

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・紙ベースの業務をデータベースに転換する等、廃棄物減少のための管理や体制に構築に取り組んでいる。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社用車をハイブリッド車に転換し、使用料を把握した上で削減に努めている。 ・使用料を把握し、本社の電気を全てLEDする等、削減に努めている。							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社用車をハイブリッド車に転換し、CO2の排出量を把握した上で削減に努めている。 ・CO2の排出量を把握し、本社の電気を全てLEDする等、削減に努めている。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境に配慮した原材料や生產品、加工品の提供を通じて、生物多様性の保全に努めている。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化、裏紙の利用を推進している。 ・環境に配慮した原材料や生產品、加工品の提供を通じて、生物多様性の保全に努めている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水や汚水等の適切な処理等に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・リサイクルペーパー利用や事業所の処分紙はリサイクル工場に持ち込む等を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・規格外や未利用資源を活用した防災食や新商品・業務用加工品、メニュー等の開発に取り組んでいる。	1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・オフィスのベランダ緑化に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・環境にやさしい素材の使用に取り組んでいる。												12.2 12.5			14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・可能な限り徒歩・自転車出勤を推奨している。 ・社用車をハイブリッド車に転換した。										9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社やどるくるむa

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・生産加工品の使用時に想定されるリスクを専門機関で検証・評価し、安心安全な提供対策を徹底している。 ・提供する商品の質やサービス向上を目的に、アンケート調査の実施等により利用者の意見を聞き、関係者で共有。さらなる充実のために活用している。			3.9					9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・【予定】1年以内に食を通じた生きがい創造や心身の健康保持・増進のための活動や組織作り(死ぬまで生きるプロジェクト)を計画している。								9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・地産地消推進のため、取引先関係者を対象に産地視察ツアーを企画し、生産者とのより深い関係構築に努め、優先的利用促進に取り組んでいる。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・食品ロスを解決するため、規格外や未利用資源の活用の事業化に取り組んでいる。 ・規格外や未利用資源解消のため、積極的に取引する等、事業として取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・農工商連携や6次産業化による新たな商品開発に取り組む、地域レベルで農水畜産業の生産能力向上と高付加価値化に取り組んでいる。		2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・全社で居住する地域の活動参画を奨励している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所内に防災用品・食品を常備している。 ・事業所地域のハザードマップを踏まえた災害に対応した火災保険に加入している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1				16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・【予定】1年以内に防災食の開発・販売を計画している。									9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・令和2年度に「SDGsを経営の中心に」を目標に策定を進め、同年度「SDGs宣言」を行った。 ・顧客に対し、SDGsの普及啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4					8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。